제410호 1910. 5. 22.




# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久靜一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社


## 韓國留學生の動靜

韓國留學生の監督學部書記官李晩奎氏は本年三月合邦問題新聞紙上に[illegible]留學生は大韓興學會の[illegible]も發表せらるゝや[illegible]の總會を開き反對の決議を爲し其激[illegible]文を起草し本國に送付せんとしたるを以て[illegible]に其決議を取消さしめたるも[illegible]に就ても[illegible]より[illegible]取締を嚴にし[illegible]反對の運動をなすべからざるものあり[illegible]將來の取締方針に關しても[illegible]相當なる取締を爲す方針なるが[illegible]云々

## ハレー彗星の發見者

[illegible]天文學者エドモンド、ハレー（一六五六年生一一七四二年死）が初めて發見觀測したのでハレーと稱ぶのである、ハレーは豪商の家に生れたが天賦の腦力卓越して十五六歳の頃から天文學を研究しまた二十歳を出でざるに王立協會に論文を寄稿して出藍の譽があつた、當時格林威の天文臺長フラムスチードは自費で天文臺の機械を購入して北半球の星座三千餘箇を觀測したがハレーも亦巨費を出してセント、ヘレナ島に渡り南半球の恒星位置を測定して盛名を博した、此時彼は僅かに二十歳、翌年再び此島で初めて水星運行の完全なる測定をして次年王立協會會員に擧げられた、二十五歳の時巴里に遊んで一夕大彗星の近日點を經過するのを觀て該彗星を研究して精密なる表をこしらへて置いたが彼が二十七歳の時一大彗星が出現した、之が所謂ハレー彗星で彼の表に歴然と符合するのを觀て彼は喜の餘り表を拜し又天を拜したと云ふ、又彼の鋭利なる頭腦は經濟學迄に斬込んで人口死亡率原理を新學に貢獻した、ニウトンとハレーとは學術上、私行上宛然管仲と鮑叔のやうで其の名著「科學原理」もハレーの金で刊行したのである

ニウトンは初年は貧乏であつたが晩年貴族院議員となり富貴の身分たりしに引替ハレーは七十餘年間天文學を研究して遂に家產も失ひやつて格林威天文臺長となつた位で八十七歳でニウトンより一年後れて死んだ、しかしハレー彗星はハレーが生前測定して置いた通り過たず千七百五十八年にも、千八百三十五年にも亦今回も出現して光芒を万年の後に放つてハレーの名譽を不朽ならしめてゐる

## ●滿韓接近と安奉線

今后二ヶ年後に於て安奉線の竣工せし曉は安東縣に於ける市場が其盛況を見るに至るべしとは今より豫想し得らるべき事實にして何人も首肯せることなるが今日の場合に於て大連より奉天に到る時間は二十四時間を要するも安奉線の竣工后に於ては僅かに七時間にて奉天に到着し得る故生魚の如き又は其他商品等の輸出入にも至大の關係を及ぼし安奉線の盛況は非常のものなるべきに付其筋にては現に同港の船舶碇泊場を擴張せんとするの計畫あり又多獅島の築港說も行はるる次第にして滿韓の接近は大に喜ぶべきことなりと云ふ

## ●關東州鹽業の振興

明治三十九年九月始めて關東都督府より大日本鹽業滿韓鹽業及び東洋製鹽の三會社が開墾の認可を得たる鹽田は一萬五千町步の廣さに亘り居たるも關東州鹽輸出制限の爲め充分なる發達を妨げらるゝの嫌ひありて其實際に使用せられたるは僅かに其十分の一の千五百町步強に過ぎざりしが政府は本年度に於て制限額を擴張して一億斤の輸入を許可する方針なりと云へば關東州鹽田の開墾も漸次振興するならんと豫想され居たりしに愈々大日本鹽業は本年度の事業として二百町步の鹽田を開かんとし滿韓鹽業は貔子窩の夾新子に開田を創めんとの計畫にて東洋製鹽亦た五島に於て事業の擴張に力を盡す筈なりと

## 地方通信

### 平壤通信

▲四月中の學事　平壤理事廳管内各小學校の四月中學事を聞くに平壤尋常高等小學校は尋常科五百五十五人にて出席者平均百分比にて九七、三一、高等科は六十一人にて九八、一四、教員は十四名、授業日數は二十六日にして四月一日入學式擧行、毎週水曜、土曜兩日を除く外は職員研究會を開く新幕は尋常科四十四人、出席平均九九、二八、沙里院は尋常科三十六人にして新入學二名、出席平均は兒童が痲疹病に罹りたるものある爲め七九、五二割、兼二浦は尋常五十八人にして退學一名入學一名出席平均九四、二三、黃州は四十八人にて出席九四、〇六、新安州は二十六人にて同上八二、七〇、安州は二十四人にて同上九九、三三、而して入學六名ありたりと云ふ

▲山林調査完了期　平壤林業事務所の平南平北兩道及び黃海道にける山林調査は略々已に終了し其の完成を告ぐるは今月末なるべしと云へり

▲鐵道用地借料　平壤民團役所にては平壤驛前の土地の發展を計る爲め鐵道用地を借受け之を轉貸しつゝあるも貸料高價にして借者なきにつき過回鐵道事務所に向け價下げを請願し鐵道事務所にては目下協議中なるが兩三日中には是れが回答あるべき筈にて多分四割位の價下げとなるべく然る時に於ては民團役所にては追つて是れを民會の議に附し土地轉貸規則の變更を爲すべしと云ふ

▲煉炭所建築工事　平壤煉炭所は捜支部建築部出張所に囑托し建築する事となり居れるが工事は燕洞及高坊山の二箇所に於ける鑛舍官舍工夫長屋及煉炭所鐵道延長敷設等なるが右は煉炭所にても大に急ぎつゝあれば前記囑托吏員等は一兩日前より現場に出張し設計測量等に鞅精從事しつゝあり右にして終了の上は同所にては近日之を受負入札に附する筈なりと（十八日）

## ◎新刊紹介

▲明治戰爭譚（五月十日發行）探檢世界の春季臨時增刊である島も吐かずに讀了りしほどの面白さを感じたまゝ御吹聽に及ぶ（東京本鄉弓町成功社實價二十二錢）

▲貿易（五月十五日東京々橋區宗十郎町日本貿易協會發行定價十錢）

▲東京經濟雜誌（一五四二號五月十四日東京々橋區左衛門町經濟雜誌社發行定價十二錢）

▲商業の世界（第七卷十號東京芝三島町實業之世界社發行定價十一錢）

▲數學俱樂部（一卷九號五月十四日東京神田猿樂町山海堂書店發行一冊三錢）

## 津田近江之守（廿二）

第百十八席　邑井一講演

一同「エ、ーツ……」餘りのことに呆れ返つて奥方も吃驚いたし　かゝ「何と申すわの助直、イヤ直助、汝が助直、助直が直助　一同「これ何を申して居るか、れ前は默つてれいで、直助全体是れは何うしたのだ　助「恐れながら申し上げます　忘れもいたしません私いまだ御當家に居りましたるとき、八月十五日無禮講の席上からポンヤリした貴殿のれ歸り遊ばしたる顔色、唯事ならずと實に心配いたして居りましたのでムいます　然るに奥樣に吩咐けられまして私は酒を買ひに參りました、ところが酒屋の庭に腰打掛けまして伊藤の中間が一杯飲んで居りました、嚴れ前の宅の旦那は宅へ歸つて何をして居らつしやると斯樣に尋ねられまして私は何事も氣付きませず、これから一杯飲まうと仰しやるので其の酒を買ひに來たんだと云ひましたら、世の中にれ前の宅の旦那は結構人といはふか馬鹿と云はうかア、隨分氣の好い人だ、今日城内で彼れだけ滿座の中で辱しめられたることを知らないか、大野九郎兵衛樣に知行はれたのであらうと、段々と聞き糺して見ますると大野の刀を鑑定を遊ばして、それを疑しいと仰しやつたと、そこで彼奴が滿座の中で貴殿の刀を鈍刀だといふことで樣々なる罵詈雜言をした、それをジツと貴殿は御辛抱なすつてれ歸りの上、奥樣にも其の事を仰しやらず、酒でも飲んで氣を晴さうといふ、ア、旦那樣のれ心のうち、實に私は其のときばかりは胸も張り裂ける樣に心得ました、酒屋を出まするといふと色々と考へましたが、何でも彼でもこりやア一つ今から大坂へでも登つて、二年三年辛抱して食ふ物も食はず金を貯め、百兩と二百兩出來たら立派な大小刀を購めて、幼少の頃ほひより御恩に相成つたる其の恩報じ、その上大野に赤恥を掻かしてれ遣り遊す樣取計らはいで措くべきかと、思ひながらもれ屋敷に歸つて參りますると、奥樣が今頃まで何をして居たといふれ小言でございます、それを幸に私は憎い顔をいたして、いまかられ暇を願いますと云つたときの私の胸のうちの切なさ、御推量を願ひます、それでも貴殿は御立腹なく、乃公の樣な腑甲斐ない者に仕へて居れば、汝もさういふのは無理はないと斯樣の思召、些細なことではあるが之れを路用にせよと、れ金を下さいましたるときの私の喜びといふものは何に譬へん樣もございません、夜をそのまゝ屋敷を飛び出しまして、夜を日に繼いで大坂へ參り、何うぞマア少しでも錢の儲かるところに奉公をしたいと彷徨いて居りますうちに、天滿の砂原に津田越前守の仕事場がございまして、その前を通り掛り、それから不圖私は氣が變りましたので、幾ら金を貯めて刀を購めたところが他人の拵へた品物、同じ人間一生懸命に勵んだならば、よもや刀匠に成れぬこともあるまいと思ひまして、それから遂に津田越前の弟子となつて、漸うのことに夜の目も寢ずいたして一生懸命に勵みましたが、越前守の鑑鏡に叶ひ、いまでは彼れの養子となつて、既に一昨年近江守助直と名前を改めましたることにございます、で其の塲で直に鍛へ上げに及んで持つて參らうとは心得ましたが兎も角も津田の養子で當時若手の近江守の作は此樣な物だといふことを國々へ示し、名前を知らして、人の噂をする樣に相成つた上でと心得まして、漸うのことに當年まで我慢をいたしましたが、どうやら斯うやら手前味噌の樣ではございますが、津田近江守といへば各國にも知る者が出來ました、それゆゑ舊の父と相談の上、大劍は父子の合作、小刀は私が心を籠めましたる品、旦那樣斯樣な次第でございますから、どうぞれ心置きなく貴殿のこれを佩刀に遊ばして、大野九郎兵衛に無念晴しを遊ばして下さいます樣」と身を遜り下つて頭を下げました。

●諸公債、諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達
京城本町三丁目 田中友吉商店 電話九九三番

廣告

キッコー ウリ 最上醬油 龍 韓國仁川 日本醬油株式會社

銘酒 白雪　龍山京町 灘屋 電三三

米國新式機械製造 土管煉瓦壺
京城本町二丁目 陶榮商店 電話百拾參番 振替口座韓國三三
陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌所 土管煉瓦販賣元

齒科治療　本町六丁目 ドクトル 中村安子（鐵そば横町）電話一九八三

醫學博士島村俊一先生有効御證明
はいたの豫防 いかなるはいたでもいたまなくなるはぐすり 今治水
價 小瓶七錢 中瓶十五錢 大瓶三十錢
本店 大阪市心齋橋 支店 東京本石町 本舖 丹平商會

賣切中 夏物 一式荷揃
帽子 洋傘 夏肩掛 シヤツ 靴下 夏手袋
其他新荷着雜貨取揃居候
京城本町貳丁目 四ヶ所商店（電話三二一番）

菊城謙讓校閲 細井肇著
漢城の風雲と名士
洋裝全一冊 定價金八拾錢 郵稅金八錢
鮮明なる各名士の寫眞版挿入す
本書は觀察警拔なる細井肇氏の筆になれる漢城政海の人物評論にして無比の朝鮮通なる菊地謙讓先生の校閲を經たり而して本書收むるところ太皇帝以下元老大臣、政治家等大凡五十名個々の性行陰謀功過は基より暗黑なる韓政海の裏面に忌憚なくメスを加へて縱横に之を解剖し照破せり殊に附錄として兩班の衰亡、漢城政海の現況、京城の沿革等刻下有要の文字あり。近者合邦問題起り對韓政策の一大解決を見んとしつゝあるに際し苟くも朝鮮問題を談ずるものは必らず座右に一本を供へざる可からざる近來の好著なり
發行所　京城本町二丁目 電話百四十五番 振替口座百十五番 日韓書房

シガー、ブドウ酒、ブランデー、洋菓子、果物カン詰類
ガレツト、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商
京城本町三丁目
辻屋
本店電話[illegible]
支店電話三六六

東京電報

▲御大葬と弔祭式 故英國皇帝陛下の弔祭式は英大使マグドナルド氏主催の下に今二十日築地三一教會堂に於て開會されたり兩陛下の御名代皇太子同妃兩殿下を始め奉り閑院宮同妃、伏見宮、久邇宮、竹田宮同妃、北白川宮同妃、朝香宮同妃東久邇宮の各殿下御參列大隈伯元老大臣及駐剳列國大使公使東郷乃木の兩海陸軍大將其の他の文武官民約三百名出席又特に儀仗兵として近衛騎兵一個大隊及砲兵一個中隊整列したり式場正面には銀製十字架上にイーアールの御名を掲げ弔讃書及讃歌朗讀朗吟祈禱等ありて先帝愛吟の「日暮れて」の歌を唱和し式は極めて莊嚴に執行されたり又た陸軍にては日比谷公園に於て百一發の弔砲を海軍にては横濱碇泊中の八雲艦に六十八發の弔砲を發せしめたり(二十日)

▲東宮殿下の復奏 我が皇太子同妃殿下は英大使主催の弔祭式終了後直に御參內兩陛下に御對顏弔祭式無事終了の旨を言上あらせられたり(同上)

▲副統監の決定平 前遞信大臣山縣伊三郞氏は副統監に決定同時に統監府に大交迭あるべしとの說あり(同上)

▲東京市民の弔意 東京市中は每戶弔旗を掲げ音曲を停止し銀行會社は休業して靜肅に弔意を表せり(同上)

▲彗星の觀測不能 十九日ハレー彗星太陽面通過に付き東京天文臺にては觀測したるも曇雲續にも顯針にも何等の現象を認めざりしと(同上)

▲滿鐵と東拓社債 南滿洲鐵道株式會社々債四千萬圓來月初旬倫敦に於て水町財務官の手にて成立すべく同時に東洋拓殖會社々債二千萬圓も募集せらるべし(同上)

▲彗星地球を包む 東京天文臺の觀測に據ればハレー彗星は今二十日午前二時東方の地平線上より南西の方向を斜に大空を一抹し其の頭部は銀河の邊に及べるを見二十日午後四時尙地球を包めりと云ふ

▲菊池博士統監訪問 菊池大韓醫院長は十九日曾禰統監を片瀨に訪問したり(同上)

▲復州地方の防穀令 奉天小池總領事より外務省への着電によれば奉天管內復州地方穀類の外運せらるゝもの多き爲め民食欠乏し糧價騰貴するに付外商の雜穀輸出は興鳳城管內の例に倣ひ一個月後に禁止する旨交涉使より通知ありたり(同上)

雜報

英領事館の弔祭式

既報の如く當地英國總領事館に於て英國先帝エドワード七世陛下の弔祭式を二十日午後一時執行せり式場に於る壯嚴の光景は言はずもがな世界を震動せる突然の崩御にして吾が國とは特別の誼を締結せる君主に在せば一層悲哀の感に打たれぬ參列者は日韓官民及外國領事團無慮八百餘名にして豫定の時刻に達するや韓皇族の次に石塚長官大久保大將以下順次式場に進めば長官大將席は最上位に設けあり茲に於て長官大將は恭しく着席し各皇族大臣は其次に以下各官位に應じて次列するやターナー僧正は各僧侶を從がへて現はれイー、アールの御名を掲げある祭壇に進み祈禱を捧げたる後アーメンを唱へたるが其聲餘音は嫋々として式場に響き神々しき事言はんばかりなし世に神聖といへるは此刹那ならんと吾れも人も思へるぞ畏し午後二時葬の進なる悲曲響くや僧正以下先づ退場し次いで參列者亦一同退場し靜肅悲痛なる式典は茲に終了したり

墺國皇族の來韓

過般御微行にて來朝中の墺國騎兵シカロプニンスアンーアースドルーアン殿下は今回韓國を經由して御歸國なさる由にて來る二十六日頃京城に着の御豫定なりと

大使入京と日程

東京駐剳獨逸大使ムンム男は大使館付武官ヲンク大佐及メヒレンブルヒ通譯官を隨へ廿日東京出發廿二日朝釜山着直に京釜線にて同夜八時廿分南大門驛に到着ゾンタクホテルに投宿する由尙は同大使京城滯在中の日程は左の如し

廿三日 午前九時半統監府訪問、同十時石塚長官官邸訪問、同十一時半石塚長官帶同にて昌德宮に參內韓帝に謁見、午後二時半大久保軍司令官訪問、同八時英國總領事館の晩餐會
廿四日 午前南山及景福宮見物、午後一時より津輕邸午餐會、午後三時より六時迄昌德宮秘苑拜觀、午後七時半より統監邸晚餐會
廿五日 午前工業傳習所ベチテクテン派教會パコダ公園觀覽、午後總領事館にて晝餐同夜七時より大觀亭晚餐會に出席
廿六日 北漢山見物(未定)
廿六日 水原行(未定)

獨逸大使の謁見

二十二日入京する本邦駐剳獨國特命全權大使ムンム男爵、同大使館附武官ヲング海軍大佐及び京城駐剳同國總領事クリユグル氏等は二十三日午前十一時半石塚長官帶同韓皇に謁見する筈なり

●德壽宮行幸の模樣 韓皇並に皇后には豫定の如く二十一日前十時敦化門出御第二公式にて鹵簿粛々能朝橋、鐘橋、鐘路、黃土峴、新橋より布德門前路を過ぎ大漢門を經て德壽宮に行幸啓相成り太皇帝及び嚴妃に御對顏の上午餐を共にせられ午後四時三十分御退去御還宮相成りたり

●山林局の規定改正 農商工部山林局は過般改正の同部分課規程に基き處務規程を改正し林政課に庶務係を置き大に從來の面目を一新せると共に從來未完結書類を等閑に付し現に隆熙元年度に受付けたる書類の尙未だ裁定し能はざる等頗る澁滯の弊あるに顧み爾後は每月未完結書類を明細に表示し之に對する責任を明かならしむる爲め各關係官吏より手續書を徵し以て官規の嚴肅を計る由なり

●弔祭式と仁川市中 仁川に碇泊中の英艦フロラ號にては一昨日午後一時より同艦乘組牧師ホーランド氏司祭の下に莊嚴なる英皇弔祭式を行ひ同午後一時四十五分より六十八發の弔砲を放ち尙は我海軍より特に派遣されし沖島艦は之に對し同數の弔禮砲を發したり當日市中の各戶は半旗を掲げ歌舞音曲を停止し全市肅然たりき

●度量衡器と檢定官 改正度量衡は既報の如く最も順況を以て普及されつゝありて此勢を以て推移すれば全道に普及を了するは近く明年中に在るべし之と同時に器器に對する檢定を施行するの必要あれば將來各道に檢定を配置すべしと云ふ

●獨大使來韓の用務 獨逸大使ムンム男來韓の用務は何等特別の任務なく漫然たる觀光の由にて都合にては京義線を經て滿洲に赴く豫定なるも未だ確定したる事にあらずと

●石黑男敍勳御沙汰 韓廷より來韓中の石黑男に左の通り敍勳の御沙汰ありたり
軍醫總監男爵　石黑忠悳
敍大勳位李花大綬章

●平壤水道の開通式 內部土木局に於て起工中なりし平壤水道は先般漸く落成したるを以て來る二十八日盛大なる開通式を擧ぐべしと云ふ

●太田民會の評議員 去る十七日太田在留日本人會評議員定期半數改選を擧行したるが其結果久納淺太郞、中尾常次郞、內田史一、石田亭の四氏當選

●太田居留民謝狀 太田居留民は三南鐵道分岐點が同地に決定し既に去る一日より實測に着手したるを悅び鐵道期成會其他へ丁重なる禮狀を寄せたり

●岡正矣氏の消息 鐵道院參事岡正矣氏(元韓國鐵道運輸課長)は今回東部鐵道管理局管內運輸事務巡閱員を命ぜらる

●學生の軍艦參觀 京城官立高等學校生徒百十餘名は二十二日午前中仁川に碇泊せる沖島艦を參觀したりと

●故玉置判事敍勳 過日逝去したる公州地方裁判所々長玉置瓊氏は韓廷より勳二等太極章を賜はりたりと云ふ

●池淸氏の出發 軍司令部附步兵大尉池淸魚氏は步兵第三聯隊附(麻布)に轉任し二十一日午前發列車にて出發

●古谷久綱氏病氣 式部官古谷久綱氏は窒扶斯に罹り去十五日より日本赤十字社病院に入院治療中なりと云ふ

●村田中尉の巡視 京城憲兵分隊附村田中尉は二週間の豫定にて楊州、鐵原、平山の各管區巡視の爲め十九日出發

●師團參謀長出張 市川第二師團參謀長は廿一日平壤、新義州方面へ出張

英帝追弔祭雜觀

▲時維明治四十三年五月二十日在京城英國總領事は故エドワード七世陛下の追弔祭を擧行された、序に申す昇天された故陛下の公式の御片書は大不列顚及愛蘭土合併王國の君主、海外諸領土の主權者、信仰の擁護者及印度皇帝と云ふのだ、尤も通稱はキング、オフ、イングランド乃ち英國王と申して英國皇帝とは申さぬ、名を捨て實を採る英人氣質は之に因つても判かる。

▲祭場は廣き英總領事館の庭內で參列者を日光に曝さぬが爲に特に大なる天幕が張られた、祭壇は入つて正面の奥まりたる邊に一段高く作られた裝飾は英國流の瀟洒質朴なもので祭壇の前には靈柩とも見べきユニオンヂヤツキに包まれた者が橫へて在た

▲午後十二時五十分を最後に數百の參列者は續々と詰掛けた、日韓文武大官、紳士貴女及び各國領事總領事、紳士貴女等夫々案內に仍つて式場に入つた。

▲參列者中今日を晴れと金色燦爛たる大禮服に有丈の勳章を引懸け帶劍姿のイカメシイものが多かつた、特に祭壇の右側に列んだ內外文武大官は一層目立つてイカメシクあつた、但し其金色燦爛たる中に在つて異彩を放てるものは瀟洒たるフロツクコートの市原韓銀總裁、吉原東拓副總裁及米國總領事代理等であつた、小供は元來光るものが好だ光る者はコケ威しだ、決して惡口を云ふのでない。

▲英國軍艦の水兵一分隊と陸戰兵の一部及び我沖島艦の水兵一分隊と步兵一中隊とが式場警護の任を執つた、公平に云へば日英水兵は萬事が互格に見ねた、併し英の陸戰兵は其長驅の奕裝の點に於て我に優つて居るが實力の點に於ては我却つて彼に優つて居るが如くに見ねた、日英同盟の眞價有どころは乃ち茲だなど思つた。

▲一時ターナー僧正は侍僧を從へて式場に入つた、僧正は祭壇に起て弔書中の數章を朗讀した、讃美歌があつた、哀哀の奏樂があつた、式は始めより終りに至る迄極て感動的であつた

▲僧正の朗讀せし一節に曰く我等は此世界に何物をも持來らず故に亦何物をも持去る能はず、只だ神我等に與へ亦我等より取去ると、嗚呼日沒なき大帝國の主權者にして而も吾人は常に此一句に就て稽ふべしだ。

▲二時式を了つた、英米陸兵は終式の喇叭を吹奏した、參列者一同は英先帝の德を頌しつゝ歸途に就いた、此日英總領事の配慮は非常なものであつた、同時に我三浦理事官の斡旋も中々勉めたものであつた。

小宮次官の處分

贈勳不敬事件に關する當の責任者が宮內府次官小宮三保松氏なることは官民共に認むる明瞭の事實なるが如何なる理由か統監府は今日迄小宮氏の處分を躊躇し小宮氏亦罪を表勳院總裁及秘書官金東完に歸して自家の責任を遁れんと企てつゝありしが廿一日東京より小宮氏の處分を電命し來りたる由なれば宮內府次官罷免の發表も近きにあるべしとの事なり

宮相次官其他辭表

宮內府大臣、小宮同次官並に宮內府秘書官金東完の三氏は贈勳不敬事件に關し二十一日午后四時辭表を提出せり尙ほ小宮次官は同時に統監府參與官の辭表をも提出したりと

日韓大豆の優劣

(鳥井釀造試驗所長談)

韓產大豆は滿州に優るも日本產よりも劣れり生來の品質は格別優劣ありと樣思はれざるも肥料に乏しきと一は收穫期に於て韓國は氣候上穀藏の取入れ一時に輻輳し自然大豆收納を後るゝが如き觀あり爲に其性質は脂肪に富むも硬質にして煮熟極て遲く且つ蛋白質澱粉に乏し▲日本產に比しては豆腐若くは味噌用としては一向勝劣を認めざるも醬油用としては甘著しき遜色あり所產地により亦た自ら等位あり先づ釜山に集注する物を第一とし仁川之に亞ぎ元山の如きは寧ろ牛莊物に近し本國に於ても近時醬油用として盛に需用さるゝも是唯だ關西地方の供給に止り夫の有名なる野田、銚子、龍野、知田、小豆島等の釀造家は一切是を使用せず生來の品質に著しき軒輊なきも肥料或は收納に於て聊かく優劣を分は遺憾の事也云々

撰擧取締規則制定

京城にては近く商業會議所議員の半數改撰及民會議員の總改撰行はるべく現に或る數氏の野心家は競爭場裡に角逐せんと運動を開始せるさへあり殊に本年の撰擧は前年に比し一層競爭激甚なるべき模樣ある爲め當局者は之に伴ふ弊害を未前に防がんと欲し近々撰擧取締規則を制定發布すべしと云ふ

●議員の滿期任了者 既報の如く今回任期滿了したるを以て京城日本人商業會議所議員中の半數は近々議員の撰擧を執行さるべきに付今其の任期滿了議員の氏名を聞くに左の十二名なりと
中村再造、山口太兵衞、曾我勉、增田三穗、林田金次郞、大曲和一郞、近藤正德、佐野彥藏、松浦源治、竹山純平、中內松治、三浦茂三郞

●民團議員の協議會 流會、又流會と重ね居りし京龍合併に關する民團議員協議會は二十一日午後七時より再開の筈なるが目下の大勢は議員總數十八名中可とするもの十名否とするもの八名にて二票の差にて合併側の勝利を見ん模樣あり此形勢を看取せる否決派は最早出席するも詮なしとて悲觀し居たり

●石黑男の婦人講話 石黑男爵は二十日藤田軍醫監官舍に在龍山陸軍將校夫人約四十名を招き「母たるもの」「信念」とも題すべき一場の講話を爲せしが其旨とする處は日本固有婦人の淑德を發揮せよと云に在しと

●石黑男爵の仁川行 滯在中の石黑男爵は今二十二日午前八時四十六分龍山發の列車にて下仁し諸所を巡視して午后三時四十五分南大門着列車にて歸京する由なりと

●ハリス博士の出發 既報の如くハリス博士は廿一日午前九時十分南大門發列車にて歐羅巴に向け出發したるが停車場には日韓人其他諸外國人約三百名の見送り人ありたりと

●日英兩軍艦の出港 仁川に碇泊中の英艦フロラ號は二十二日午前七時威海衞に向け我沖島艦は佐世保に向け同日午後二時出港せり

●石黑男の有志招宴 滯京中の石黑軍醫總監は官民有志を廿二日午後七時より花月樓に招待す

●李學部大臣の消息 李學部大臣は二十日午前十時五十二分大邱發列車にて永同に到着したりと云ふ

●和田工學博士入京 工學博士和田維四郞氏は一昨二十日入京し南山町天眞樓へ投宿したりと

●支店長會議の終了 韓國銀行支店長會議は去る十日より開會したるが去る十九日を以て終了したり

●時尾大佐の大邱着 舞林廠長時尾大佐は二十一日午前八時三十五分馬山發列車にて大邱に到着す

寄書

不自然の民團分立

川端　不渇生

京城及龍山兩民團合併問題は今や漸く研究の時期を經過して可否討論の場合となれり、討論は須らく正さに公明なるべく決して感情の爲めに敵者を避ひ或は又自己の懷抱を枉屈して附和雷同するが如き事あるべからざるなり。是を聞く世界に於ける都市發展の趨勢は總べて是れ南進の傾向を有し東北方面に居住する市民は自然に其繁榮を奪はれつゝあるが如し、現に是を京城に看るも此趨勢あるは爭ふべからざる事實なり思ふに京城の地勢たる東西北の三方面は彼が如く山岳重疊して衞衢の膨脹を阻止するも南方は土地廣濶にして到處に其餘地を存し異に河海は細流を擇ばざるの觀あり、殊に沼々たる漢江の流域は無限の價値を有し實に市街地として其美觀を添ゆるのみならず若し且つ之を利用せんか億萬金も尙は代へ難き天與の賜物たり、今龍山は茲に位し京城の咽喉を成す是れ大に考慮すべき所以の一たらすんばあらず、論者漫りに龍山如今の非勢を目し其の將來を觀するも是れ井蛙天を說くの類だ、則ち龍山の今日の如きは一時的現象にして焉んぞ之を以て數年の後を律すべけんや、既に京元線は其起點を龍山に定められ、其他官廳の經營すべき諸般の設備は多く同地を中心として計劃されつゝあるが如し、故に叙上繁華南進の趨勢は決して吾人を欺かず近き未來に之を目擊し得べき事明かなり、是れ大勢上より見たる京龍の將來にして抑々亦合併利益の一大理由たらすんばあらず。又た夫れ自治制度運用の點より見んか利害の一致は自治團體生存の必要條件なり此點に於て京龍兩地は不可分の實質を有す、然るに強いて分立を營める爲め其生存を危からしむるに到れり、是れ恰かも一定收入の下に生活する家族が門戶の虛榮を衒はん爲め分散離居を敢へてする如きものにして殊更に團結を破壞せる不一致に基くものなり、予は龍山の現狀に鑑み京城の將來に顧し兩地の結合益々切要なる所以を思ひ又不自然の分立倍々不可なるを感ずるや久し、之が爲めに多少の利害を問ふの遑なく斷然其決行を見ん事を望むものなり、論者の所謂今茲に其合併を遂行せんか龍山の頹勢を救はん爲め京城居留民は十數萬圓の犧牲を拂はざるべからずと言へるが如きは則ち現狀を基礎とせる打算にして果して其然るや否やは疑問なり、何となれば予は城龍の將來を叙上の如く確信す、故に之を一團として經營すれば一は以て繁華南進の趨勢に適ひ一は以て龍山の非勢を振興し隨て是より得る處の利益は論者の杞憂する損失を償ふて餘あるを思惟すればなり、今や此合併の要求は龍山側の爲にして好機逸すべからず、區々たる利害の爲めに之を躊躇するは將來漢城市政の中心たるべき京城居留民否吾人同胞の爲めに取らざる處なり。

公人私人

△森越太郞(海軍大佐)二十日仁川へ
△河野甲一郞(同上二等主計)同上
△植松重明(警部)二十日入京浦尾投宿
△日吉守(統監府中學校敎諭)佐藤投宿

▲治外法權▼

贈勳不敬事件に因つて統監政治のタガの弛み加減が立證された、イヤハヤ何どもれ憐みの申上樣もない次第だ、夫に就いても立證の材料を供給した小宮は或意味に於て僅かに男を揚げた▲今度の事件に就いて城代石塚殿の御心痛嘸々と御察し申す、併し曖昧な御處置は政道に禁物で御座る、先以て三保松の御役御免詰腹と云ふところを御斷行が然るべう存ずる▲聞けば狡猾な小宮は不敬事件の責任者を宮內府秘書官金東完なりと稱し彼を免官して自分の首を繋がんとたくらみ其儀を石塚長官まで申込んだッウだ、石塚長官も亦何の理由を以てか小宮を庇護して金東完の身代りで濟ますことに考へ居たッウだ、併し之はマタ聞きの話だ、我石塚君はマサかにソンナ譯はやるまい▲小宮と云へば彼は猶氣引籠中だと云ひながら一昨日の英皇追弔祭には大禮服を穿けて鐵面皮にも英國總領事館へ押掛け他の大官の中に打雜つて弔祭式に臨んだ、之を見たる四五の外人私語して曰く不敬漢小宮は僅かに式の神器を汚したりと▲某々氏不敬事件に就いて小宮を訪ひ彼の辯明を聞いた、彼曰くドウも日本人の新聞紙は不謹愼で困る、我輩獨逸に永く居つたが伯林の新聞紙などは決して官吏の職務上の失態などは書かぬ、またフランスの新聞などもソウだと、中々虫の良い事許り並べるので某々氏は彼の誤託に呆きれて歸つたソウだがオタイのカサウラミとは蓋し三保松の事だ▲過日ルーズベルトはパリーに於て大那翁の墓に詣つた、其折彼は那翁を偉人なり偉人なりと激賞した、曾てはブライアン鹿兒島に大西鄕の墓を詣め西鄕は偉い偉いと激賞した、前後共に英雄崇拜の佳話だ。

# 喜劇自分厚遇

[illegible]

で言葉も判るし話も合ふしで厭だ皆んながが待つて居るからと言つても仲々聞き入れず放して呉れないばかりにイヤ飛んだ失禮したチエ諸君と總會をランビキにかけて取つた様な愚痴を溢しながら肩て恩すると云ふ始末に其所はなんでも友達の間柄待たせられた怨みも忘れ果て夫りや君随分困つたらうウム察しるよと宥めたら嘸ぞや甘からうと思はれる同情の涙とやらをフンダンに打つ掛けてると唐突に背後の方で流暢な英語にて、アノチ組さん方妾の今のれ客程手數のかゝるは少ないよ稍くも知らない巴里の話しに通を利かして妾やアホントにウンザリして終つたのと大きな聲で薬屋を曝けた女があるのに一同吃驚して他事ならずと胸躍らし振り返つて見ると豈に圖らんや其の女と云ふは○○君の敵妓なりしに各自に安心の胸撫で下すと共に素破抜かれて泣き出し相な○○君を慰め賺して其の場は其の儘引き取りたるが今夏ならぬ其の君の獨りよがりに愛想を盡し今も同僚間の笑ひ草とはなり居るとか抑も其○○君と云ふは何をか匿さう現宮内府次官小宮氏にして三分間の▲▲君とは香阪元の法務院長なり七分間君と十三分間君との名を匿したるこそ遺憾なれ

昨日證據品諸共仁川裁判所檢事局に廻したりと

## 狂言の阿片自殺

▽ウーイ水が欲しい

中部壽洞二十五統一戸雜貨商申基錫（三九）は近來非常に窮乏し妻の衣類等迄入質する位なりしが弟の李基鉉が田舍に家を持ち何か事業を爲さんとしつゝある書信に接し大に喜び金五圓を送付せしに妻の李姓女（三〇）は大に憤慨して自分の衣類迄入質する難儀に迫り居るに弟に五圓と云ふ大金送付抔甚だ不人情なり其金があらば私の衣類を受質し呉れと大に不服を唱へたるより李基錫は中部には阿片を飲み自殺するとて十九日午後十時頃家出して十一時頃歸りそれでは後は宜敷頼む南無阿彌陀佛と三遍唱へて打倒れたるより顏色も變り居るより李姓女は吃驚仰天一大事と悲鳴をあげしより附近の者等は何事ならんと驅付け見ると前記の始末に一方には派出所に急報せしより韓人巡査阿片自殺なら解毒の妙法ありと現場に出張し解毒藥を飲せたるに顏色一變して立ち上りウーイ水が欲しいと吐したるより翌二十日中部署に於て李基錫を呼び出し取調べたるは實は阿片を飲みたるにては無く豫て酒を飲みませんに四合許り飲み苦しくなりましたから、妻の不心得を戒しむる爲め阿片自殺と洒落ましと答へたるが洒落にも程と場合があると大目玉

## 魚屋仲間の刃傷

▽出刃庖丁にて腕に斬付く

昨二十一日午前七時四十分頃南大門通り二丁目魚市場に於て魚屋同士の刃傷騒ぎありたるが被害者は水標町三丁目魚商**中岡彌太郎**（三〇）にして同日行商すべき魚類を求めつゝある内本町七丁目**天島常太郎**（三三）と魚代の**取引上**の事より**争論**を起し常太郎は生意氣な事を吐かすなと**出刃庖丁**にて彌太郎に斬り付け右腕上膊部に**長さ五寸**深さ骨に達する**重傷**を負せたるが元より生命には別條なし加害者は即刻南部署に引致せられ目下取調中

## 人骨に梅毒の妙藥

▽墓隱亡日田龜次の罪惡

仁川火葬場隱亡日田龜次同袖次の親子が死屍に纏へる衣類を剝奪せし恐るべき犯罪に依り仁川署に引致されし由は既報の通りなるが其後取調べの結果前記犯罪の外遺骨を以て梅毒の妙藥を製造し密賣し居りたる事實を確めしかば

## 女振り

角商會支店内儀　前川みつ女

角商會支店と丈けでは一寸判り難いが南大門の傍の自轉車屋と云へば直ぐに分明る、支店主任の太郎吉君の内儀が即ち此のみつ女である、大阪は北區の生れで本年十九歳である太郎吉君は羅井生れの本年二十八歳、頭の白雲の鬘鬘遁れりし頃より大阪北區上福島の本店角利吉氏の店に勤めて居たのだ、れみつさんも一昨年頃から同家の上女中として坊チやん孃はんを學校や琴生花のれ師匠さんへ送り迎ひをして居た内に、れ釋迦様だつたか孔子様だつたか判然とは覺へて居ないが何んでも大變偉い人が仰云つた言に『遠くて近きは男女の情』とある、然るに當時のみつ君と太郎吉君との間は近いも近いもホンの店と茶の間の障子一枚を隔てゝ居るだけの事であつたのでツイ其のタイした事になつた、何分見る目嗅ぐ鼻の赤鬼靑鬼が多いので主人の耳に這入つた、本來ならば御手打ともある可き處だが多年の勤勞もあり將來見込もあると云ふので表面はれ叱りの上夫婦にして韓國支店主任を命ぜられたのが昨年の春であつた、れみつさん仲々の働き手で自轉車の輪の如クル／＼クル／＼骨身を吝まず働いて御座る心配性の太郎吉君『れみつ働くのは好いが餘りに何んだとタイヤが切れるぜ』と注意するとともある相だがれみつ君は一向平氣で『ナアニ妾の身體は鍋の中の金米糖と同じでコロ／＼と働き廻つてると段々肥るのですよ』と咏いたとを云つて御座る、蕪村翁の名吟『れ手打ちの夫婦なりしに衣更』を拜借して贊さしよう。

## 平民の客は嫌だよ

▽れ多福亭れはつが事

中の新地にれ多福亭と云ふ料理屋あり其處の酌婦の田村はつと云ふは昨年九月頃前借金二百七十圓にて抱へられたるものなるが中の新地組合事務所頭取象口入業河口の雇人なる柳ケ瀨と云ふ驅け出し新前の韓ゴロの間の抜けたゴロ付き振りが一寸乙だと女の方から關係を付け妾れは柳ケ瀨さんの内縁の妻だから操を守らねばならんから酌婦はするが淫賣なんて賤しいことは出來ないんですと蛙の頬冠り同樣向ふ見ずに晒ア／＼して居るので樓主も腹は立つが柳ケ瀨の祟りが恐ろしいので默つて居ると宜い氣になり何うも此の家は私の性に合はないと前借を百五十圓に踏み付け太平町の玉水亭に鞍替したるに十九日の朝も明治町三丁目の阿部古物店に居る柳ケ瀨の所に行き玉水亭のれ客は平民が多いから統監や軍司令官の見らる家へ行きたいなんて白痴が熱に浮かされた如なことを言つて居たのを聞き込んだ玉水でも感情を害しれ多福に戻したが飽迄不貞腐つたはつは勝手にしろなア暴言を吐くより樓主松永より西部署に説諭願ひを出したるより懇々不心得を諭したるに分りましたと云つて引き退つたと云ふが眞實に分つたのが何うかは一寸考へては考へ當らぬてとなり

## 守備隊兵舍の燒失

▽軍艦沖の島消防隊の來援

一昨日午後八時三十分仁川守備隊兵舍より失火せしが折しも西風强く見る間に三百三十坪餘の建物は烏有に歸したり之より先き日消韓の喞筒は現場に馳せ着け尙は目下碇船中なる沖の島艦よりも消防隊應援の爲め來着せしも水の便なき爲め如何共手の附け様なく全燒の上午後十時頃鎭火せり損害は四千圓

の見込にて發火の原因は同日大掃除を執行したる由なれば畑草の火より大事を釀したるものならんといふ

## 氣の早い通譯殿

三重縣人當時南米倉町二十四番戸綠遣屋經理局通譯石母田阜（三五）は南米倉町七十九番戸雜貨屋北原屋人朴竜福（十八）と喧嘩し朴の頭を毆打し微傷を負はせたるより西部署に引致の上說諭放免せられたりと

## 浪花館の落語一座

▽一寸乙な多藝揃ひ

明治町の定席浪花館を初めて覗いた、思つたより場内も廣く設備も中々整つて居る、目下は三遊亭若遊三と云ふ一座の落語が掛かつて居る、此の若遊三は三遊亭遊三の實子でまだ白面の一靑年である、話しは東京式の極くアッサリした處で殊に言語が頗る明晰なので心地能く聞かれる、併し當人の得意は落語よりも踊りにある、唄も中々上手だ、自分の見た折は松づくしと、海晏寺の與三郎と淸玄であつたが形も新らしく何れも面白かつた、大詰の電氣踊は若遊三の一人舞臺で狂獅子から三つ面の所作に移つり、それから勇み姿で木遣り音頭面白く振りをする度に身体や舞臺の牡丹花に電氣が咲く實に鮮やかであり、此外圓三の踊り文福の話し一座總出の喜劇等何れも面白く肩の凝らざる看物聞物である、尙ほ一座は二十四五日で打ち揚げ仁川へ乘込むそうだ（もの字）

## 神と佛

▲メソヂスト教會　旭町二丁目の同教會にては二十二日午前十時半よりロックウエル教師の禮拜說教、午後八時よりは木原牧師の傳道說教あり參聽隨意

▲京城基督教會　日の出町の同教會にては二十二日午前九時より日曜學校同十時より米深牧師の禮拜說教『ゴルゴタの丘上』あり午後八時よりは同牧師の傳道說教『自然と不自然』有參聽隨意

▲日本基督教會　旭町四丁目なる同教會にては二十二日午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜說教『信仰生活』あり午後八時より同牧師の傳道說教『基督教の使命』ありて參聽隨意

▲淨土宗靑年會　明治町一丁目淨土宗開教院にては昨二十一日午後八時より同會例會を開催し水谷開教使の『佛教倫理』及び會友某の『我心の現狀』の講演あり會衆に深き印象を與へたりと

## 目と耳

▲歌舞伎座　豫て報道したる如く東都講談會の驍將功七級い勇士桃川若燕一行は愈々來る二十四日より同座に於て每夜午後六時より開場の筈なるが入場料は特等一圓一等七十錢二等五十錢三等三十錢子供券は十錢とし軍部と教育に關係深き海陸軍人、在鄕軍人、赤十字社員、愛國婦人會員、教員、學生に限り各席一等宛繰上げ優待する由にて猶は今回は初日より終演迄均一又は値下げ等は一切なさゞる由なれば早く見たり聞いたりする方が得策なり○○○○○○○○○○御前講談出征軍、軍事講談乃木將軍○○○○赤穗義士勝田新左衛門、新當講談十八番（桃川燕燕）人情美談醫道の花、○○○○○忠孝美談木村重成（本年命燕樂）新派筑前琵琶小楠公、同北白川宮、同扇の的（粟谷子嬢）大曲藝數番咏一丸○○○

▲壽座　中村歌若一座二十二日の替狂言は前『双蝶々長吉長五郎』切狂言『二人獅子所作事』にして配役左の如し　南鄕十次兵衛、獅子使歌作（歌若）姉れきせ（正三郎）小福屋與五郎、獅子使内匠八（内匠之助）吉田五右衛門、（三之助）放駒長吉（竹三郎）長尾軍八（若衣）母妙林（九十郎）長五郎（大舍）

▲浪花館　同館三遊亭若遊三一行二十二日の演物は左の如くなるが每夜の大入に一同大車輪にて代り合ひまして代り栄れを仕つて居るとは結構なり　兵庫船（若三郎）壽限無（若明）鳥屋坊主（圓三）花色木綿（笑三）刀屋丁稚（文箱）喜劇（座員總出）品川心中（若遊三）大切所作事電氣踊用

## 今日の運勢

五月廿二日舊四月十三日六白佛滅丁亥破三りんぼ△一白　會心の日大抵吉予孫の爲に祝り嫁入れをなすに吉△二黑　婚姻請願中裁示談に適す旅行新事見合せの事△三碧　崩れ易き日新事見合せたるべし賣買計算金品授受證券印章の事注意すべし△四綠　盗難横領を防ぎ交際上衝突を起す勿れ　不自由尙不時の負傷避くべし△五黃　多き日新事及相談依賴旅行効なし談判裁判紛議解決には適△六白　人より容疑競爭の恐れあり受任受托の關係を作る勿れ△七赤　中傷誣妄防ぐべし盜難紛爭の難を戒しむ△八白　交際上怒情を挑發され易し精算決算上に紛糾生じ易し△九紫　蹉跌多き日新事及取引賣買貸借控へ目の事尙旅行入學門披露凶

五月廿三日舊四月十四日七赤大安戊子危△一白　暢進の日なり大抵吉只家庭親族の事煩累あり建築伐木の工を始むるに妙△二黑　平靜の日但し誘惑進興の事誤を惹起し易し火氣に關する業務に尤も適す△三碧　總じて厄運の日なり殊に色情拘惜の破れを戒しむ新事及企圖効なし△四綠　取引談議難し部下從者より損害にわふ虞れあり△五黃　貸借保證事損害眼逐多し其他大概吉△六白　改革整理分業分家轉業等を始むるに吉音信其他により些少の煩累あり△七赤　不適の日新事及旅行見合すべし機密漏洩其他口舌の難及色情の難を戒しむ△八白　主上及尊屬親の爲損害煩累あり其他平凡△九紫　沈寂の日新事及變更の事見合すべし尙旅行貸借談議利有らず（本町五丁目二一館判）

廣告

最上醬油　仁川港　三巴醬油釀造場　電話七壹三番

夏物全部着荷
男女洋傘　パナマ帽子　麥藁帽子　香水　化粧品　旅行用具一式
歐米雜貨　洋酒食料品　洋煙草類　直輸入商
京城本町　辻屋　本店 電話二四八番　支店 電話三六六番　振替口座八七番
他地方よりの御注文は振替口座又は小包郵便にて御送付可仕候

生殖器科教室（皮膚病黴毒泌尿生）
多年福岡醫科大學皮膚科教室に奉職の處今般辭職左の處に開業專ら
皮膚病黴毒痲病膀胱病（生殖器機能障碍）診療に從事
診療（午前自八時午前二時迄　夜間自五時九時迄）　入院隨意
南大門通三丁目　電話一一七三番
京城郵便局後　支那領事館前通
佐藤皮膚病院　院主　佐藤伊[illegible]

丸　支店 出張所　共通賣出し
五月廿四日より五月卅日迄　僅か七日間限り
夏物大賣出し
木場久留米絣　反　貳圓五拾錢より
其他洋反太物類
流行ゆかた地　珍柄モス友仙色々　外に縫目なしかや各種
特約品蘭戸かや各種　弊店製造品やま九夏たび　麻ふとん地
其他麻もの類わたるい一切
正札より五歩引▲尺賣物は歩引の外「入尺」澤山▼……ワタは歩引なし
御買上如何に不拘御遊覽願上候
京城本町壹丁目憲兵隊前　丸商店　電話四八三番
京城本町五丁目壽座入口角　丸出張店

[illegible]主筆
書畫骨董雜誌　○○○○○○○○○○○○○○○
五月二十日發行
●壹部五錢、拾貳部前金五拾四錢　貳拾四部前金壹圓（郵税共）郵券代用一割增　第貳拾四號
六版　日本書畫名覽　定價●名覽は日本古今書畫の番附表にして本年は大改正したり　價格表八二錢　●本古代書畫の相場表にして本年は大改正大增補したり
九版　日本書畫價錄　定價八二錢　●右兩書は天下一品の評あるもの　四月廿日既刊
東京市本鄕區湯島三組町二十　振替貯金口座東京第六八八九番　書畫骨董雜誌社

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入　ペンキ塗工事大勉強請負
永樂町二丁目　赤門通り　楳野工舍

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話二千四百〇九

ゑり徳商店

廣告

藝妓置屋開業

料理店待合其他素人様方の御席へも參じますから御贔負に願ひます

いろは順

市子
市松
太郎
仲子
松吉
愛子
光次
光子

明治町

中屋席

電話一四八二番

和洋御料理

△各位の御引立を蒙り開店一年を過ぐ
△御蔭を以て座敷を改築し庭園を設け別に撮影の眺望あり
△調理はハイカラにあらず素人料理
△原料は新鮮にして却て別味あり
△宴會、凡べての御會合の會場或は御婦人方御同伴の御清遊に適す
△御席料など頂戴致さず
△仲居あり親切にして愛嬌あり御客様の御命令は何なりとも奉ずべし
△飾けないで飾ける素人料理安いの飛び切り一度御枉駕下さい

一洋食 代金六十錢 御一人前六皿 ビール一本付

一會席 代金六十錢 御一人前六品 酒二本付

此外洋食は一品毎金廿錢和食は一皿金十五錢以上自慢の東京流天ぷら、高等しるこあり

たちばな

南大門通三丁目東き彌生町裏光寶門筋向、明治町三丁目支那領事館西濠筋北に入目標赤點燈

開業御披露

和洋會席御料理

本月十五日より開業

仲居及料理人其他器具類一切神戸より輸入し御待遇親切設備高尚にして頗る美味なる御料理を以て勉強致候間陸續御來遊之程奉希望候敬白

京城旭町三丁目

神戸 富田家支店

電話一八一二番

きちや

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は町嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

京城曙町

大槻商行質部

貴重品と雖も塊所の許す限り可成長期間大切に留保し高價濫なきを期す

# 夏物聯合大賣出

自五月二十四日
至五月三十日

呉服商組合
（いろは順）

(㊐) 林呉服店 電話六百五十二番

(㊔) 山枝呉服店 電話二百二十四番

(㈪) 山口呉服店 電話九番

(㊎) 圓城呉服店 電話百五十七番

(㊁) 惠阪呉服店 電話七百二十六番

(㊌) 末永呉服店 電話六百八十二番

現金ニ限リ聊添物進呈

見切反物寄切種々

（但シ添物ナシ）

御披露

大世間様に弥めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粋様方には一山超へて新町遊廓は解語の花に戯れ玉ふ年中の好季節になりましたので後週の別れを惜み歸へらせ玉ふ粋様方の御便宜を圖り今回美をつくし精を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サッと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粋をぬきたる一品料理を調へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと

○親子丼（上等三十五錢）
○鰻丼（上等三十錢）

何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉強老妓御好みに應じ數々の内藝妓も侍らせて御興を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれば隔てなき御友達又は御家族打ち連れての御光來を偏に奉願升

大和町三丁目

梅の家

電話七三五

素人料理

開業に付謹告

初夏の折柄四方の御客様方益々御清穆に可被爲渉奉大賀候扨れば弊店事先年開業以來不紗御引立を蒙り難有御蔭を以て日々繁昌仕候段何よりの仕合に奉存候就ては日頃の御贔負に添はん爲め今後時候柄適切の素人料理を調進可仕尚ほ新鮮なる材料を精選し其の價は廉なるを旨として御需めに應じ可申候間何卒一層御引立を賜候樣伏て奉願上候頓首

京城明治町一丁目

東京 生そばまつば

電話八三二番

支店開設廣告

謹啓陳ば時下陽春の候大方の各位益々御清穆奉大賀候降而弊店儀開業以來熱心ご勉強ごを旨ごし專心斯業に從事仕り居り候處幸ひ江湖の認むる處ご相成り日増隆盛に赴き候に付今般左記に支店を開設し本支店共獨特の技能を以て迅速に調進可仕候間多少に不拘御用命仰付被下度伏而奉願上候

美術、書畫、襖、壁、天井張、

京城壽町一丁目 桂萬吉 （電話六二七番）

龍山岡崎町矢島鐵工所筋向 桂龍山支店 （電話架設中）

金魚各種

卸小賣

陸軍御用達

龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）

馬木勇吉本店 電話三六四番

茶器商

京城本町五丁目一番戸角

馬木勇吉支店 電話四七一番

開業

代書仲介

今般小川法律事務所ヲ辭シ左記ノ處ニ事務所ヲ設ケ書ク代書仲介ノ御依頼ニ應シ可申候

京城本町一丁目理事廳前（稜陵旅館隣）

林久米藏信託事務所

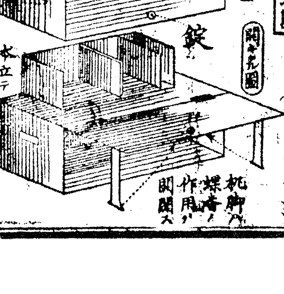
事務員 寺井弘 （電話六七三番）

擊劍道具
柔道着衣
刀劍類並附屬品
紡績製捕助繩
呼子笛
各國々旗
洋馬具一式
姿見鏡並塗替
空氣ランプ
花莚長尺物、
籐寐台乳母車

輕便机に限り賣出し中は特に二割引にて御相談に應し申候

其他御注文次第何品に依らず引替便にて御送付申上候

特許 本箱兼用輕便机（各五種並）




右其名称ノ如ク机ニシテ本箱ヲ兼子タル輕便至極ノ新式家具ニシテ殊ニ韓滿吾ノ殖民地向トシテ至適ノモノト確信シ今回發賣致候間御試用有之度奉希上候

（尚詳細ハ御申越次第説明書進呈可仕候）

京城本町三丁目

家具製造販賣 室内装飾業 森安吉商店

韓國電話一五〇番

明治廿年七月創立

資本金一千萬圓

東京海上運送保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂレン
穀物食鹽
諸染料類

韓官衙御用品調達

委託販賣

東京 ランバート商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
高麗印刷合資會社製品特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 京城地府電新橋龍三町一丁目 東京千番 九六二

紙と印刷

諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本

諸官衙御用

播本商店

京城本町六丁目

電話百拾番

(㊅) (㊎) (㊋)

味噌醤油製造元

漬物問屋

京城本町五丁目

特約販賣 自製

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬

大賣出し

大上商店

（電話二五一番）